

吹田市明るい選挙推進協議会/吹田市選挙管理委員会主催

白バラ講座

-データでみる私たちの意識-



令和6年2月13日(火)

14:30~16:30

千里市民センター大ホール

プログラム

14：30 開会

主催者あいさつ

吹田市明るい選挙推進協議会会長 寺地 多久志

吹田市選挙管理委員会委員長 前田 俊郎

14：40 第1部

講演「データでみる私たちの意識」

関西大学法学部助教 法学博士 浅野 良成

講演概要

政治や社会に対する市民の意識をデータに基づいて可視化しながら紹介する。選挙や投票率に関心のない人でも、日ごろ生活している社会に対する思いはきっとあるだろう。そうした思いがどのように分布しているのか、世代や地域によってどのように異なるのかを知ることで、明るい選挙運動に関心を持つきっかけとしてもらう。

15：45 休憩

16：00 第2部

シンポジウム「若者の投票率向上施策を考える」

関西大学法学部助教 法学博士 浅野 良成

大阪学院大学商学部1年次生 里村 明莉

大阪学院大学経営学部1年次生 石川 陽太

大阪学院大学経営学部1年次生 森 峻貴

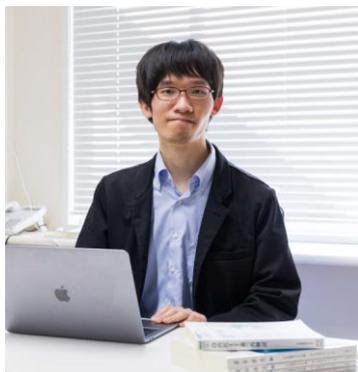
大阪学院大学情報学部1年次生 北川 蓮

吹田市明るい選挙推進協議会会長 寺地 多久志

吹田市明るい選挙推進協議会実行部長 安田 仁成

16：30 閉会

講師紹介



あさの たかあき
浅野 良成

関西大学助教 法学博士（令和4年3月 東京大学）

「比較政治学1・2」「専門演習」
「発展演習政治学」を担当

【専門分野】 比較政治学

研究テーマ

民主主義国における有権者・政治家・マスメディアの相互作用について実証研究を行っている。特に、現代日本で争点化されることの多い外交・安全保障政策に注目しながら、有権者・政治家・マスメディアが互いの役割や政策選好をどのように認識しているのかを分析している。

所属学会

日本選挙学会、日本政治学会、日本公共政策学会、日本社会心理学会

著書

「賛同・許容・傍観された自民党政治」有斐閣 ※令和6年3月18日刊行予定

受賞

令和3年6月 日本公共政策学会 若手最優秀報告賞「自民党部会人事の変容」

令和4年3月 大阪商業大学 JGSS 研究センター JGSS 公募論文 2021 優秀論文賞

「選挙動員をめぐる団体間比較と国際比較－JGSS-2003 と EASS 2012 による検討－」

令和4年3月 東京大学大学院法学政治学研究科 博士（法学）特別優秀賞

令和5年3月 東京大学総長大賞「安全保障問題に注目した現代日本の代表民主制の実態分析」

令和5年5月 日本選挙学会賞（優秀報告）「国会議員の政策位置と委員会活動」

パネリスト紹介

大阪学院大学

若年層投票率向上施策研究チーム「ランナーズ」

大阪学院大学が令和5年度後期に開講した、1年次生対象科目「キャリアデザイン入門Ⅰ」受講生からなる研究チーム。

行政課題に対し、グループで解決に取り組むPBL (Project-Based Learning) の一環として、吹田市選挙管理委員会事務局からの課題「若年層を対象とした投票率向上施策」の考案に取り組んだ。

授業では4チームが同課題に取り組んだが、SNSを用いた数百人規模の意識調査を行うなど、本格的な研究を行った「ランナーズ」は、最も優秀な解決策の発表を行ったチームに贈られる「選挙賞」を受賞している。

今回のシンポジウムにはチームメンバー6名中4名が参加。

明るい選挙ってなに？

民主主義の基盤である選挙が明るく行われるためには、私たち市民一人ひとりが政治や選挙に強い関心を持ち、有権者としての自覚と政治意識を身につけることが必要です。

また、選挙に際しては、積極的に投票に参加し、私たち市民の意見を政治に反映させる必要があります。このような選挙の実現をめざして政治意識の向上に努め、投票参加と明るい選挙を呼びかけていくのが「選挙啓発」であり、また、「明るい選挙推進運動」です。

この運動の目的は、①選挙違反のないきれいな選挙を行なうこと、②有権者がこそって投票に参加すること、③有権者が普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うことです。

みんなの願いきれいな選挙

